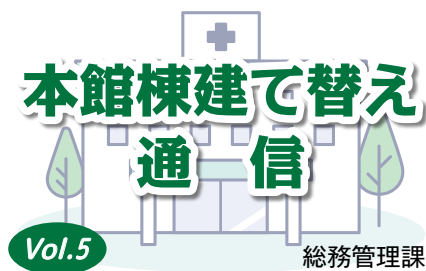


工事と並行して施工図面を確定させるために、院内で打ち合わせを重ねています。

人の動線、建具位置・ドアの開閉方向、設備・機器の位置など、建物の使い勝手に問題がないかを細かくチェックしています。

総合プロット図打ち合わせ



「本館棟建て替え事業」の
進捗状況をお伝えします。



基礎工事が始まりました

インフラ設備（受水槽・医療ガス・水道など）の切り替え工事が無事に完了し、現在は、地盤を掘削するなど基礎工事に着手しています。残土を運び出すためダンプの往来が多くなりますが、ご協力をお願いいたします。

掘削の工事が終わると、基礎躯体の鉄筋工事が始まります。その頃には、建築資材をつり上げるクレーンの姿が見えてくると思います。



（当時の中野高原療養所）

公立邑智病院は、県立中野高原療養所の跡地に建設されています。

県立中野高原療養所は、住民の熱意により昭和27年に開所され、244床のベッドを有し、結核の治療にあたってきました。結核患者は当時県下で二万人を超え、死亡率も極めて高いものでした。

公立邑智病院の場所に以前建っていた 県立中野高原療養所を紹介します



医学の発達とともに結核患者は激減し、昭和58年3月に県立中野高原療養所は閉所されます。31年の歴史に幕を閉じましたが、地域医療の灯は邑南病院（邑智病院の前身）に引き継がれています。